

# よこすか育成通信

題字：横須賀市長 吉田 雄人

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

## ガンバッてます!! 非行防止キャンペーン

### ☆7月6日 横須賀中央駅周辺

常葉・不入斗・大津中学校区

暑いな～ 海の妖精スカリンだよ  
今日は非行防止キャンペーンで横須賀中央のYデッキにやって来たよ!

不入斗、常葉、大津の中学生、先生、保護司、小学生、青少年育成推進員の総勢60名と一緒にティッシュとチラシを配ったよ  
みんな海の妖精になりたがり、じゃんけんで争奪戦をしたよ

分身になってくれた中学生はスカリンの暑さや大変さがよくわかったらしいよ

中学生のみんなは「声もたくさん出せるようになってくると笑顔が出て、受け取ってくれる方も増えて、笑顔の大切さがよくわかった」って言ってたよ

スカリンもみんなの活動を応援しているよ  
(松元 陽子)



### ☆7月20日 汐入駅周辺

坂本中学校区

当日は吉田市長を筆頭に小中学校5校の校長と教諭も陣頭に立って頂き、坂本中学校生徒30名の参加もありました。

青少年向けイベントに青少年自身が運営サイドとして参加することは大変意義深いものと受け止めています。

その他、地域連絡会メンバーを合わせて約50名での開催となりました。

開始時間は16時でしたが、熱気も冷めやらず、とくに着ぐるみをもとった生徒は汗だくで、小さな子どもたちの人気に応じて頂き感謝しています。

用意したチラシとティッシュのセットおよび地域で用意した風船も短時間の内に配り終えることができましたが、今年も吉田市長は魅せてくれました。チラシ配りの絶妙さは例年通りですが、生徒が気後れするような、少々ヤンチャに見える青年に対しても、きちんと向き合い、言葉を添えることで、一瞬で心を通わせる「技あり」の所作でした。

こういった活動の直接的な成果は見えにくいものですが、活動に参加された方、チラシを受け取ってくれた方、受け取ってくれなくても活動を見ていた方の意識に、多少の差はあれども根付いたものがあつたと思います。

(井上 浩文)



### ☆7月27日 追浜駅周辺

追浜・鷹取中学校区

未明の雷とゲリラ豪雨、今日できるかな? 開始時間の16時には猛暑となりましたが、風が時折り強く吹き、頬に心地よかったです。

鷹取中学校・追浜中学校・追浜高校・横浜創学館高校の生徒・学校長・教諭・保護司・地域連絡会の方々・青少年育成推進員・市議会議員・田浦署員・県警OB他総勢67名が追浜駅周辺4ヶ所に分かれて、非行防止キャンペーンを行いました。

頬を赤くしながら、生徒さんが笑顔とともにチラシやティッシュを手渡すと、道行く人にも笑顔があふれ、暑さのなかにもさわやかな気持ちになりました。

今年もピンクのうさぎが大好評。汗びっしょりになりながら頑張ってくれました。

「来年もまた手伝いに来ます」との言葉に連帯感が生まれ、このキャンペーンも地元で根付いてきました。  
(萩原 康子)



# ガンバってます!!

# 地域れんらくかい

## ☆KOIフェスタ

4月29日 不入斗中学校区

毎年、昭和の日に開催されるKOIフェスタ。グラウンド上空を泳ぐこいのぼりの『鯉』と地域からの来客の『来い』をかけて名付けられ、地域の子もたちを招き中学校に親しんでもらおうというPTAのお祭りです。

地域連絡会として協力すること7回目、チョコバナナのブースは子どもたちに大人気、たくさんの子もたちの喜ぶ顔に癒されました。(吉田 徹)



## ☆たくさん採れた、ジャガイモ収穫祭

6月5日 長沢中学校区

「うわー虫が出た！」今日は『沢畑』で全校生徒参加の収穫祭。地域の人々や青少年育成推進員も手伝い畑は大賑わい。今年は土を入れ替えたので、昨年よりも多く収穫できました。

昼食には若いお母さん方が作ってくれた『揚げジャガのそぼろ煮』を頂き、生徒の持ち帰りの他、我々もお土産のお裾分け。

畑ではすぐ、秋に向けサツマイモの植付け準備が始まります。(西村 康彦)

## ☆地域連携Dayに協力

7月5日 鷹取中学校区

今年で3回目、学校と7自治会が一緒になって防災訓練を行いました。

全校生徒166名と学校長・教職員・自治会の方々・青少年育成推進員・育成担当者等128名が参加。

薪で火をおこし、豚汁や味噌汁・レトルトカレーの作成、ボランティアと要援護者宅訪問、防災機器の取り扱い訓練と実りの多い一日でした。(萩原 康子)

## ☆武中BMS夏休み学習サポート

7月25・28・30日 武山中学校区

武中生の地域ボランティア「BMS」。今

年も171名の生徒が登録し、地域の様々な行事で活躍しています。

Blue …青少年の青

Mates …仲間

Staff …委員

これらの頭文字をとってBMS(ビーエムエス)。平成17年度の生徒たちが名付けてくれました。

BMSは地域連絡会が主催し、中学校区内の町内会・自治会やPTAなどの依頼を請け、行事のお手伝いボランティアとして活動しています。

活動の一つとして「夏休み学習サポート」を3日間にわたり老人ホーム横須賀椿園と武山コミュニティーセンターの2会場で開催しました。

これは宿題を持って集まった小学生とBMSが、一緒に学習を進めるというもの。始めは、はしゃいでいた小学生がBMSのお兄さんの隣で真面目に取り組む姿も見られ、和やかな中にも真剣な、小中の交流の時間が持てました。(村地 紀子)



## ☆夏の祭典

7月27・28日 岩戸中学校区

岩戸6町内会が合同で行う夏の祭典が、今年も2日間にわたり開催されました。

町内会有志による出店が10数店舗を数え、会場のC公園は延べ2000人を超える人出で大盛況でした。

青少年育成活動地域連絡会では中学校と話し合い、生徒7人の応援を得て放送係とチョコバナナの模擬店を受け持ちました。

900本以上を売り上げ、生徒たちには「また来年も参加したい」と好評でした。(高橋 武弘)

## ☆暑さを吹っ飛ばせ! そうめん流し

7月30日 北下浦中学校区

地域連絡会主催のそうめん流しは、10年

目を迎え、地域の方々が毎年楽しみにしている夏の風物詩となりました。

支えるスタッフとして教職員・生徒・PTA・近隣の町内会及び育成活動団体の方々が多く集まり、延べ人数500名の大イベントとなりました。

嬉しいことに今年度初めて近隣の高校からの協力をいただき、小学生・中学生・高校生の交流を持つことができました。

(三橋 きよみ)



### ☆第15回地域のお楽しみサマーコンサート

8月23日 北下浦・長沢中学校区

夏の暑さを吹き飛ばす、北下浦中学校音楽部・長沢中学校、津久井浜高校の各吹奏楽部による演奏会が、大勢のお客様をお迎えし、北下浦行政センターで開催されました。

青少年育成に関わる地域5団体の協力の下、今年で15回を数え、各校の演奏にも熱が入りました。人気の『あまちゃん』の吹奏楽部2校聴き比べや、北下浦小学校の児童も交えての地域からの要望で復活した『北下浦音頭』も好評でした。

これが終わると、北下浦もほんのり秋色の風を感じるのだけれど・・・(西村 康彦)

### ☆学校防災訓練に協力

8月23日 久里浜中学校区

地震発生。津波を想定し生徒は屋上へ避難。警戒解除後校庭へ移動、自治会ごとに集合し各地区の避難所到着後に様々な訓練が実施されました。

3・11の体験から、中学生の地域での役割を自覚させるべく学校、各地区で訓練を実施しましたが、はたして生徒はこの意義をくみ取り訓練を実施できたか不明です。処暑とはいえ30度を超える中の訓練でした。

(遠藤 栄治)



### ☆青少年の健全育成を進める県民大会

7月13日 平塚市中央公民館

『青少年を取り巻く情報化社会に自立する

力を育むため～社会全体で青少年を守り、支え、育てる～』というスローガンのもと開催されました。

オープニングは、サザンオールスターズの曲にのせた平塚学園高等学校のチアリーダーの演舞。はじける笑顔を見せながらノリノリのパフォーマンスに会場の人々も一体となり、とても楽しい空間になりました。

次に、尾花紀子氏(ネット教育アナリスト)による『～子どもたちが、直面しているリスクとメリットを正しく理解して向き合おう!～』の講演でした。

青少年が育っていく中でネット社会のスマホの利便性及び犯罪やモラルの問題を、子どもとのコミュニケーションの中で私たち大人が理解して、各家庭でルールを話し合うこと。

一度流した情報は戻ってこないことを把握し、依存しないよう子どもたちを注視する一方、親子で共に学ぶのも良いと話されていました。

パネルディスカッションでは、パネリストの方々や高校生も、講師のサイト上の「スマホ18の約束」と照らしあわせながら、どのように使いこなしているかと話していました。インターネットは、最終形のない、答えのないツールであり常に私たち大人もチャレンジしていくのが大切と学びました。

(小幡 玲子)



### ☆青少年の非行・被害防止啓発パネル展示

7月8日～12日 市役所本館北口

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせて、環境研究部会で毎年パネルを作成し、市役所で展示しています。

ネットやケータイでのトラブルや、神奈川県青少年保護育成条例を紹介したパネルに加え、今年新たに作成した「自転車のルールや事故の賠償責任」についてのパネルなど、全部で9枚展示しました。

多くの方に青少年の非行と被害防止に関心を持っていただけるよう、地域の行事などでもパネルを活用していきたいと思えます。

(K.H.)



### ☆青少年育成推進員技術研修会

7月10日 青少年会館

今年度の研修会は『非行防止パトロールのポイント』（声かけ指導等パトロール時の注意点）をテーマに研修が行なわれ、45名の推進員が受講しました。

こども育成部こども青少年支援課の高塚氏と青少年巡回指導員の藤末氏、佐野氏の講話とその後の質疑応答で「パトロールの心得、留意点」を学ぶことができました。

高塚氏は「直ちに、こちらの身分を明かさない」、「説教じみた会話は避ける」ことを、藤末、佐野両氏は「あいさつから始める」、「刺激を与えるような話し方をしない」ことを心掛けるようにと話されました。

この研修会（講演）で、これまでのパトロールのあり方や心構え、方法等を再認識するとともに、新たな方法も得ることができました。

またパトロールを通じて、地道な活動を重ね、抑止力を維持し、非行と被害から青少年を守ることが大切だと感じました。

（小川 輝夫）



アイスブレイク（出会いの緊張をほぐすゲーム）の後、川本氏の講義が始まりました。

まず、コーチングとは「気づきとやる気を引き出し、自発的行動を促し、目標達成をサポートすることである」と説明がありました。

次に、コーチングのスキル3つの基礎について話されました。

①聴く…相手を認識する際の情報はほとんど視覚、聴覚から入ってくる。笑顔や相槌等相手に話しやすい環境を作り、話しを十分に聴いて相手を理解し尊重する。

②承認する…相手の変化、成長、成果にいち早く気づき言葉ではっきり伝える。そして、最後まで聴いてあげることによって「やる気」が育つ。

悩んでいる人は、聴いてもらった安心感で自己肯定感が生まれ、自信とやる気が出てくる。

③質問する…相手のことをより理解するため具体的かつ明確に質問する。

以上のことを踏まえ一週間後、一年後、十年後の自分はどうしていきたいか目標を明確に設定してもらおう。その際に基本的にアドバイスや提案はしない。

研修中その都度、初対面の方と実践しましたが、100%相手の話を聞くことや答えを導く話術の難しさを実感しました。

この研修会で得たことを今後の活動に役立てたいと思います。

（鈴木 啓子）

### ☆横須賀三浦地域青少年指導員活動研究会

6月8日 県横須賀合同庁舎

共育コーチング研究会代表の川本正秀氏をお招きし「子どもの可能性を引き出すコーチング」の研修を受けました。

## ♪ ゆうやけこやけ ♪

よく云われていることだが、非行防止には地区住民が一致し協力して行動をすることが大切、即ち「見て見ぬふり」は大人の社会通念に反する行為です。

私事ですが、某駅で学生数名が上下線ホームで女子の一人がペットボトルを反対側のホームの男子に投げる始末、ホームには車いすの老人、ベビーカーの母子、一連の行為に大人が誰一人注意（当方も）しませんでした。

「皆が子どもを見ています」高齢者の爺が一念発起。非行の芽は早めにつみ取る決意です。

（K.S.）

編集後記：

不入斗中学校PTA会長最後の年、たびたび職権を乱用し地域と学校を結びつけ活性化を図ってきましたが、たまにどちらの立場で発言をしたらいいのか迷うときがあります。広報紙のレイアウトや校正にもちょっとだけPTAの感覚が入り込んでいたり…今は忙しい毎日ですが来年度は少し寂しくなったりするのでしょうか？

（編集担当 吉田 徹）

「よこすか育成通信」第15号  
発行／横須賀市青少年育成推進員連絡協議会  
会長 芦澤 雄一

〒238-8550 横須賀市小川町11番地  
横須賀市役所こども育成部  
こども青少年企画課内

TEL 046-822-8223

http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp  
/3405/g\_info/1100050659.html